

4

情報ネットワーク(医療)

めあて 医療の現場で、情報ネットワークはどのように活用されているのでしょうか。

1 病院内のネットワーク

患者の情報をデータ化し、病院内で共有している病院があります。医師や看護師がすぐに情報を共有することで、病院全体で患者によりよい医療を提供できます。また、情報がすぐに伝わるようになるので、診察や会計などの待ち時間を短縮することができます。

病院での診察の様子



患者の情報が登録されている電子カルテ

■病院内でのネットワークのしくみ



2 地域でのネットワーク(とねっとの例)

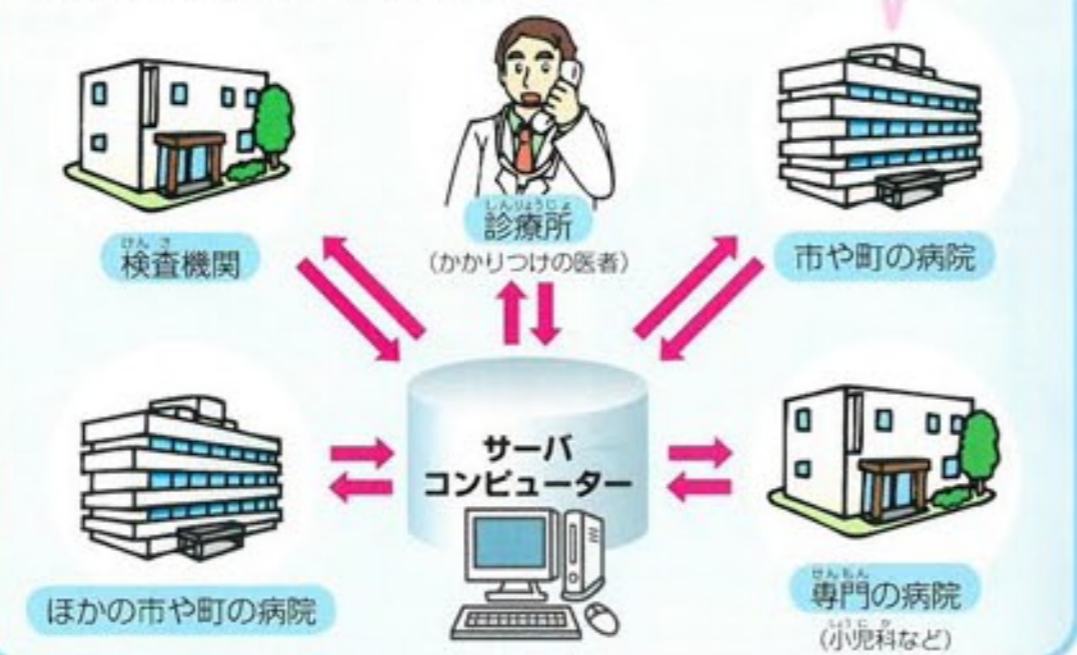


東埼玉総合病院 医師 中野さんの話

とねっとに登録されている情報を共有することで、それぞれの医療機関で何度も同じ検査をする必要がありません。また、検査をする設備の整っていない病院でも、新しく正確な情報を入力することができます。どの機関でも同じような医療を受けることができるので、患者さんも安心することができます。

*とねっと=埼玉県北東部の7市2町で運営されている医療ネットワーク

■地域でのネットワークのしくみ



病院や関係機関が、患者の検査結果や使用薬をはじめ、病気や身長、体重などのさまざまな情報を共有しています。



情報を共有し活用することで、医師にとっても患者にとっても便利なくみになっています。

3 緊急時のネットワーク(とねっとの例)



患者の緊急搬送の様子

緊急時にも、医療ネットワークは活やくしています。患者の情報は、「かかりつけ医カード」を読み取ることで、確認できます。緊急時に患者を搬送する救急隊員もその場で患者の情報を確認することができます。



かかりつけ医カード



埼玉東部消防組合 救急隊員 鳥海さんの話

かかりつけ医カードがあれば、アレルギーの有無や飲んでいる薬などの情報を確認することができます。病気やけがをしてあわてている患者さんや家族の方から話を聞くよりも、情報が正確で役立つ場合が多くあります。

4 そのほかの医療ネットワーク



医師の数が少ない地域や、病院が遠くてひんぱんに通えない地域で活用されているよ。



■遠隔医療

専門の医師がその場になくても、インターネットを通じて、診断を受けることができます。



■在宅医療

家庭や職場にしながら、健康チェックや医師の助言を受けることができます。

達人に聞く!!



医療にネットワークを活用する達人

とねっと会長 大橋さん

とねっとには、病気やアレルギーの情報、住所など、重要な個人情報が多く登録されています。そのため、情報は加入している本人と医療関係者しか見ることができません。また、いつでもとねっとを利用してきよう、データを登録しているサーバは、安全な場所で正しく管理しています。

ことば事典

【情報ネットワーク】

パソコンや携帯電話、テレビなど多くの通信機器をつないで、情報のやり取りができるようにしたしくみのこと。インターネットのふきゅうによって、医療のほか、防災や福祉、教育などの分野で生活がより便利になるよう、さまざまな取り組みが行われています。

【個人情報】氏名や生年月日、住所など、個人が特定できる情報のこと。個人情報が悪用されると、犯罪に巻き込まれるなどの被害を受けるおそれがあるため、安全に管理する必要があります。

学習のまとめ

- 1 情報ネットワークを活用し、病院や地域の関連機関で、患者の情報を共有し医療を行っているところがあります。
- 2 情報ネットワークを活用することで、患者は適切によりよい医療を受けることができます。